

# 「海外における日本医療拠点の構築に向けた研究会」 昨年度(第1～4回)と本年度(第5回)の位置づけ

- 昨年度研究会の成果を踏まえて、本年度は日本の医療機関/メーカー等が持続可能な形で海外で医療拠点運営を行う上での課題と取組を検討

## 昨年度（第1～4回研究会）

### 論点

医療拠点構築の課題や拠点構築モデルの整理、国内体制のあり方等

### 検討課題

#### I. 日本の医療拠点の要素

日本の医療拠点といえる最低限の要件を整理

- 医療サービスを提供する施設
- 日本人等が医療サービスに関与
- 日本企業等が出資

#### II. 日本の医療拠点構築を通じて海外に提供し得る価値

日本医療の強みや方向性を明確化

- 早期発見、健診、検診、予防、低侵襲医療、遠隔医療、小型機器を用いたサービス提供
- チーム医療に基づく安全性やオペレーションの効率性、ホスピタリティの提供

#### III. 海外における日本の医療拠点構築のモデル

医療サービス提供のモデルを検討

- 商社と医療機関が連携する手法やODAとの連携 等

#### IV. 医療機関と事業者等の連携のあり方

医療機関にとっての国際展開のメリット・デメリットと今後の方向性を特定

- 医療機関等が組織として継続的に国際展開を行うよう負担軽減/インセンティブが必要

## 本年度（第5回研究会）

### 論点

日本の医療機関/メーカー等が持続可能な形で海外の医療拠点運営を実施していくにはどうしたら良いか

### アプローチ

医療サービスの海外展開の  
グローバル・ビジネスモデルの整理

日本の医療機関の海外展開例の整理

グローバルモデルと日本の事例の差異から、日本の医療機関/メーカー等が競争力の高い地域/領域で持続可能な医療拠点運営を実現するための課題と取組の整理